

2014年度 後期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境学科						
科目名	日本語表現法基礎Ⅱ						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	必修						
担当者	藤本 晃嗣						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特性を正しく理解できる。 ・敬語を理解し、正しく使い分けができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・原稿用紙、符号などの使い方の基礎を学習し、正確な表現ができる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の基礎を修得する。 						
日程と内容	9/18 第1回：講義概要＋文法4 1回目 9/25 第2回：文法4 2回目 10/2 第3回：語彙・言葉の意味1 1回目 10/9 第4回：語彙・言葉の意味1 2回目 10/16 第5回：語彙・言葉の意味2 1回目 10/23 第6回：語彙・言葉の意味2 2回目 10/30 第7回：語彙・言葉の意味3 1回目 11/6 第8回：語彙・言葉の意味3 2回目 11/13 第9回：語彙・言葉の意味4 1回目 11/20 第10回：語彙・言葉の意味4 2回目 11/27 第11回：漢字・表記1 1回目 12/4 第12回：漢字・表記1 2回目 12/11 第13回：漢字・表記2 1回目 12/18 第14回：漢字・表記2 2回目 1/15 第15回：定期試験 1/22 第16回：まとめ・復習						
成績評価基準	定期試験	50%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	50%	計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	大学生活、そして社会人としての生活の上で必要となる、基本的な言葉の知識を多くの学生が理解し習得することができたと思われまふ。特に間違えやすい漢字や表記について、それがなぜ誤りであるのかという基礎となる考え方で理解した上で、正しい表記ができるようになったと考えています。						
反省点	全体的に雰囲気よく進められました。テキストが比較的やさしかったため、より難しい問題を補填する必要があったと思います。						
来年度の計画	様々な問題に取り組ませ、より幅広いシチュエーションに対応できる力をつけさせたいと考えています。						
授業評価アンケートに対するコメント	特に問題はなかったようであるため、今後授業内容をより豊かなものにしたいと思ひます。						
履修登録者数	70名	定期試験 受験者数	69名	合格者数	69名	合格率	100%